

# 手形検査で汚染度確認

ノロウィルスやインフルエンザなどが流行する季節を迎えました。  
 予防の基本として、「手洗い」はとても重要といわれています。  
 手洗い方法の確認と見直し⇔手からの汚染感染リスク低減を目的に、  
 弊社では手形培地での付着菌検査を行っております。

検査の内容

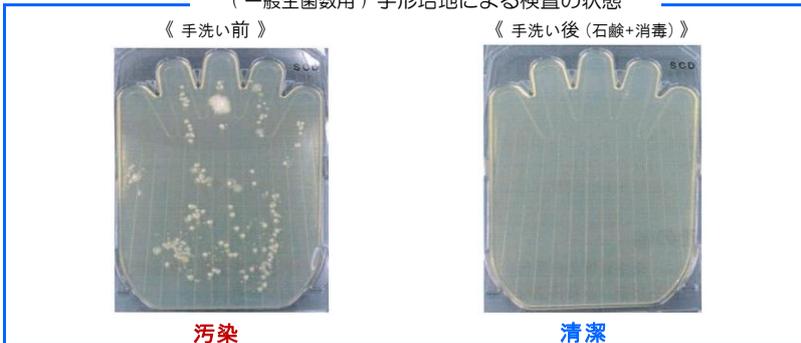
通常、検査は利き手を調べます

24時間培養し、判定を行います。

画像と【清潔・軽度の汚染・汚染・重度の汚染】

の4段階でご報告します。

(一般生菌数用) 手形培地による検査の状態



手洗浄チェッカー「てあらいくん」を使用し、  
 洗浄状態の確認も行っております。



- ①専用のオイルを手に塗り、通常の手洗いを行います。
- ②手洗いが不十分だと洗い残ったオイルが白く浮かび上がって見えます。



## 手洗いのタイミング

- 帰宅後
- 調理する前
- トイレの後
- そのまま食べる食品を取り扱う前
- 生肉・魚介類・卵等に触った後
- 配膳の前

さまざまなモノに触れる手指は、  
 細菌の重要な感染ルート源  
 です。

手形培地検査をはじめ、  
 「てあらいくん」を用いたの洗浄  
 状態の確認を含めた、衛生  
 講習会なども行っております。

お気軽にお問い合わせ下さい。

## 手洗い手順

①～⑦を2回繰り返す

<p><b>1</b></p> <p>まず流水で汚れを落とす。</p>	<p><b>2</b></p> <p>石けん液を取り、よく泡立てる。</p>	<p><b>3</b></p> <p>手の平、手の甲、指の間を両手を組むようにしてもみ洗う。</p>
<p><b>4</b></p> <p>親指を片方の手で包み込んで洗い、指先で手の平をもみ洗う。</p>	<p><b>5</b></p> <p>手首をつかんでもみ洗う。</p>	<p><b>6</b></p> <p>つめブラシを使って爪の間をブラッシングする。</p>
<p><b>7</b></p> <p>流水でよくすすぐ。</p>	<p><b>8</b></p> <p>ペーパータオルで水気をしっかり取る。</p>	<p><b>9</b></p> <p>指先を立ててアルコールを噴霧し、両手にすりこむ。</p>

株式会社 **九州保健ラボラトリー**  
 Kyushu Hoken Laboratory

<http://www.kyuhoh.co.jp>

